

グビーを経験した者から見るとかわいそうである。

**ラグビー部**

出版委員会の一年間の報告を書いてくれるには、少し疑問を持つ。原稿用紙が一枚だったので、報告はできないかも知れない。「報告」という言葉も解釈していく。はじめに一番記憶に残っている高体連国体予選である。

ともに遠征しての試合であった。水沢、グランドと釜石の松倉グランドである。初めての遠征試合なので、一人一人にいろなことを与えたと思う。応援がなくなりにくい、やりやすい、等ただマネージャーだけはたいへんいそがしかったと思う。

ラグビーは十五人対十五人で、力とわざと性を競うスポーツである。

人間は苦悩が大きければ大きいほど喜びがないことを知っている。だが、ラグビーはせかない、僕みたいな体の弱い者にはできたと初めからきめている友達がいることは、

5 内 沢	岩 手 6 (0—6)	6 盛 農
6 藤 沢	昇 (3) 滋 (2)	12 人 見 直 行 (2)
7 難 波 保 夫 (2)	13 細 越 好 範 (3)	
8 小野寺 幹 夫 (2)	14 須 藤 一 憲 (3)	
15 田 屋 信 一 (2)		
成績		
市民大会		
岩 手 11 (8—3)	0 盛 農	
岩 手 0 (0—0)	19 盛 工	
高体連(水沢)		
岩 手 18 (15—3)	0 宮 水	
岩 手 8 (3—5)	9 黒 工	
岩 手 5 (0—8)	14 釜 石	
国体予選(釜石)		
岩 手 5 (3—15)	0 水沢 高 石	
準決勝		
岩 手 0 (0—0)	0 釜 石	
FW		
1 武 蔵 積 (3)	9 宮 崎 信 行 (1)	
2 桜 井 新 三 (3)	10 大 家 雄 一 (0)	
3 佐 藤 敏 彦 (3)	H B	
4 慶 谷 憲 治 (3)		
11 川 口 真 充 (1)		
H B		
岩 手 5 (3—15)	0 水沢 高 石	
B ブロック一回戦		
インターハイ予選		

末文で失礼とは存じますが、我々をここ迄育てて下さいました戸嶋先生始め先輩諸氏に厚く敬意を表します。  
(熊谷記)